

第 18 回 健康づくり推進協議会の概要報告

開催日	令和 4 年 9 月 30 日（金）14：00～16：00
開催場所	オンライン形式（Zoom）による開催 事務局：前橋テルサ 9 階
出席委員	小野寺委員、里見委員、吉川委員、内藤委員、佐藤委員（議長）、 佐藤委員、吉永委員、神山委員、猪俣委員、田村委員（委員名簿 順）
事務局	支部長、企画総務部長、企画総務グループ長、保健グループ長、 保健グループ長補佐、保健グループ主任、保健スタッフ、保健師
議事	（1）令和 3 年度保険事業実績および令和 4 年度の主な取り組みについて （2）リスク保有割合および質問票項目から見える課題について
議事概要 （主な意見等）	・支部長挨拶 ■議事 【議題 1】 令和 3 年度保険事業実績および令和 4 年度の主な取り組みについて 資料に基づいて事務局より説明を行った。主な質問・意見は以下のとおり。 【質問・意見】 （行政） 目標の数値には届いていないが、前年と比較すると実績は伸びているので、引き続き実績を伸ばしてほしい。 群馬県公式アプリ「G-WALK+」の実績について、1 年経過し、ユーザー数は約 3 万人に増えている。歩数が増加している継続利用者数から、医療費抑制効果の推計をしている。 （議長） 「G-WALK+」においては、個人のランキングだけでなく、企業単位でのランキングもあるのが魅力の一つ。健康経営などで PR してほしい。 協会の報告に対しては、コロナ禍による厳しい状況の中、実績としては盛り返している結果を見ると、目標に対する取り組みは効果があると感じる。 （行政） 被扶養者の健診受診率・保健指導が低いように感じる。事業所や家族などを通じて健診

を受ける風土づくりを進めていく等、みんなで健診を受ける習慣を広めていきたい。

（事務局）

被扶養者の健診受診率低下は、コロナによる影響が大きい。

令和元年度と令和 2 年度で事業主経由の特定健診受診勧奨を行い、令和 2 年度の効果検証の結果が良かったため、令和 4 年度も実施することとした。令和 4 年度実績も引き続き効果検証を行っていきたい。

（事務局）

コラボヘルスの推進では、令和 3 年 3 月末から令和 4 年 3 月末までの健康事業所宣言事業所の伸びが大きかった。事業所数を伸ばしていく「量的拡大」と並行して、協会の保健師が事業所へアプローチを行う等の組織的に啓蒙していくことによる「質的向上」を図っていくことが重要である。

（議長）

他団体の取り組み「前橋ウェルネス企業」との相互認定は、お互い winwin の関係で素晴らしい取り組みであると思う。ほかの関係団体・自治体との連携はできるのか。

（事務局）

自治体との連携は積極的に行いたい。県内でも大きな市と連携ができれば、とても大きな規模で事業を行うことができる。

（行政）

当市の健診実施率については、令和 1 年度実績までは持ちなおしてきている状況。本日の情報を持ち帰り、現状行っている事業の精査、連携の可能性を模索したい。

（行政）

当市でも事業所との連携をしているので、協会とも引き続き連携をしていきたいと考えている。

（行政）

8 月に「全国労働衛生週間」実施のプレスリリースを行い、職場の環境整備等に努めている。また、毎年 9 月を「職場の健康診断実施強化月間」として集中的・重点的に啓発を行っている。医療保険者とのコラボヘルスの推進を重点周知事項としているため、一層の協力連携を図っていきたい。

【議題 2】

リスク保有割合および質問票項目から見える課題について

資料に基づいて事務局より説明を行った。主な質問・意見は以下のとおり。

【質問・意見】

（事務局）

健診結果および健診受診時の質問票により、生活習慣に関して男女ごとに群馬支部と全国平均との比較を行った。現状の分析結果について、気付いた点や印象をお聞かせいただきたい。今後は年代別、地域別等の分析も加えていきたいと考えており、これらの健康課題を周知するための効果的な方法（見せ方）についてもご意見いただきたい。

（学識経験者）

今回示されたデータは県の背景データと合致すると思われる。

群馬県は自殺率が高く、生活習慣との兼ね合いで考えると重要な資料となる。

包括的に見るのが重要と考えるが、メンタルヘルスについて、協会としてはどう捉えているか。また、協会職員（県外出身者が多い）から見た本データの感想・実感は如何か。

（事務局）

メンタルヘルスについては今後、ポピュレーションアプローチ等を中心に力をいれたいと考えている。現状では、宣言事業所に対するセミナーの中で、メンタルヘルスに対する希望があった際は、産保センターと連携し、講習を行っている。

協会職員から見た生活習慣のデータについては、車社会であるため歩くことが少ないことや、喫煙率が高い結果など、概ね印象と一致している。

（議長）

県内でも地域によって特徴があると思うので、自治体との連携と地域特性についての分析が重要であると考えてる。

（保健医療関係者）

非常に良いデータ。データには説得力がある。できることがあれば連携・協力していきたい。

（保健医療関係者）

血圧が高い点については、県民は塩味が強いのを好む傾向・大盛りが多いことが影響していると感じる。距離は短いが早歩きなどの傾向から見てもデータの結果には納得。群馬県民の気質を表している有用なデータであるため、周知・広報してほしい。

(被保険者代表)

血圧が高いことのリスクを考えると、血圧が高いという点をできるだけ周知したほうが良い。

(行政)

当市でも栄養指導などの取り組みを行っている。今後もイベントを含めて可能な限り連携していきたい。

(行政)

生活習慣のデータの傾向は、広く周知されているものではないので、多くの人に知られるよう普及啓発をしてほしい。生活習慣は、睡眠や帰宅時間も影響している。地域別の特徴と合わせて、業態別での特徴についても分析があると良いと思う。

(被保険者代表)

働く環境や生活習慣が、健康状態に影響している。

コミュニケーション不足や運動不足等を含め、熟睡感がないと訴える人がいる。

メンタルヘルスを整えるのはなかなか難しい。

(議長)

健診も含め、メンタルヘルスについても重要な点として今後の事業展開の参考にしていただきたい。

(行政)

喫煙の情報周知の際には、医師会、歯科医師会が禁煙支援を行っていることを合わせて周知広報してほしい。

(事務局)

さらなる分析を進めるとともに、本日いただいたご意見を今後の事業展開の参考にしていきたい。

■事務局より連絡事項

- ・「更なる保健事業の充実について」を報告。
- ・次回開催については来年秋ごろを予定。

以上、説明し終了とした。

特記事項

- ・特になし